

孔版印刷をご利用の場合にご理解いただきたい事項

EditNet プリンテック

孔版印刷は、そのコストの安さから特に小部数（枚数）での印刷において適性を発揮する印刷方法です。弊社は孔版印刷の品質の維持および向上のために努力しておりますが、オフセット印刷に比べると簡易な印刷方法であり、仕上がりや表現には不可避免的に差が生じることも事実です。

弊社では孔版印刷とオフセット印刷の両方において、それぞれの利点を生かせるサービスを提供しております。2005 年から提供を開始した「EcoDuo」は、本文に孔版印刷を、表紙にオフセット印刷を採用した、コストと全体の仕上がりを両立させたセットとして、好評をいただいております。

ご利用にあたっては、印刷原理に基づく仕上がりの差異などをご理解の上、最適なサービスをご用命くださいますようお願いいたします。ご不明の点がございましたら、遠慮なく EditNet プリンテックお客さまセンタまでお申し付けください。

なお、孔版印刷とオフセット印刷の違いについて、詳細は別紙でご説明させていただきますので、ご参照ください。

（お問い合わせ先）

EditNet プリンテック お客さまセンタ

電話 03-5432-3913

<http://www.EditNet-p.jp/>

孔版印刷をご利用いただく場合にご理解いただきたい事項

ここで紹介する現象は、孔版印刷において発生することがあり、オフセット印刷では通常発生しない（または、度合いが比較的軽微であるか、頻度が低い）現象です。

多くの場合、これらにより通常の用途における実用上の大きな支障が生じる可能性は低いと考えておりますが、お客様の要求水準しだいでは残念ながらご期待と異なる結果となることも考えられます。お客様におかれましても、このような孔版印刷の特性をご理解の上ご利用くださいますようお願いいたします。

なお、ここで紹介する現象は発生し得るすべての現象を網羅することを意図したものではなく、記載されていない事象が発生しないことを保証するものではありませんのでご了承ください。

1. 版に起因する現象

(1) 版の傾き・伸び

① 概要

孔版印刷の版はオフセット印刷と比較して柔らかく、また機械で版を保持する機構も弱いものであるため、印刷開始時または印刷中において版の取り付けが傾くことがあります。

その結果、紙に対する印刷位置や画像の寸法に若干の変動が生じ、または傾きが生じることがあります。

② ご理解いただきたい事項

孔版印刷では、印刷位置が紙に対して概ね2~3mm程度ずれることがあります。このため、位置や寸法に精度を要する用途（特に、機械印字用伝票など）に孔版印刷を利用されることはおすすめできません。

また、多色刷りや断裁位置ぎりぎりの文字や模様などについても、この点を考慮されるようお願いいたします。

(2) 版じわ

① 概要

「版の傾き・伸び」で説明した原因に加え、版の裏側から圧力でインキを

押し出す原理上の問題により、版に若干のしわが入ることがあります。

その結果、画線部に筋が入ったように見えることがあります。なお、文字や模様等が読み取れないような事例は通常ありません。

版じわは印刷開始時点で入ることと、途中から出現することがあります。逆に印刷中に消えることもあります。

② ご理解いただきたい事項

孔版印刷をご指定いただく際は、このような現象の可能性をご理解の上ご利用いただくようお願いいたします。

2. インキに起因する現象

(1) インキの不均一

① 概要

孔版印刷のインキはオフセットと成分が異なり、印刷機の構造も大きく異なるため、特にベタ部分においてインキの乗りが不均一になることがあります。

② ご理解いただきたい事項

孔版印刷をご指定いただく際は、このような現象の可能性をご理解の上ご利用いただくようお願いいたします。

(2) 用紙の波打ち

① 概要

孔版印刷のインキは水を含むため、特にベタ部分において用紙が吸水により伸び、若干の波打ちが発生することがあります。この現象は、薄い紙ほど発生しやすくなります。

② ご理解いただきたい事項

孔版印刷をご指定いただく際は、このような現象の可能性をご理解の上ご利用いただくようお願いいたします。

(3) インキの乾燥・転移に関する問題

① 概要

孔版印刷のインキはオフセットと異なり重合しないため、印刷後期間が経過しても顔料等の成分が落ちることがあります。少なくとも文字については影響がないものと考えておりますが、ベタが多い場合などは気になる場合も考えられます。この度合いは印刷色や用紙の表面の平滑性等にも左右されます。

② ご理解いただきたい事項

ベタを配置した柄を印刷し、表紙等の摩擦が多い用途に用いる場合は、オフセット印刷を利用することが望ましい場合があります。（表紙のみオフセット印刷のEcoDuoもおすすめします。）

また、強くこすることで色落ちが生じたり、汚れが生じることがありますので、取扱いに注意してください。

(4) 印刷物を更に他の機器に通した場合の問題

① 概要

孔版印刷のインキはオフセットと異なり重合しないため、印刷物を更に他の機器に通した場合にローラ等の汚れが生じることがあります。また、多くの機器は開発段階で孔版印刷の印刷物との相性を検証していないものと考えられ、その他の支障が生じる可能性も否定できません。特に、レーザプリンタやコピー機（静電複写機）では感光体に影響が生じる可能性があります。（インクジェット方式の場合はヘッドが紙に触れないため支障はないものと思われませんが、ローラの汚れは生じることがあります。）

② ご理解いただきたい事項

孔版印刷の印刷物を更に他の機器に通す場合は、機器の構造上孔版印刷のインキの影響を受ける部分がないかを確認することをお勧めします。（必要に応じて当該機器のメーカー等に確認してください。）

3. 機械の構造・性能等に起因する現象

(1) 位置、寸法の精度

① 概要

孔版印刷機はオフセット印刷に比べて構造が簡易なため、印刷位置の精度は高くありません。このため、印刷位置のずれやばらつきが生じることがあります。

また、製版の原理や版の材質により、寸法（特に、用紙の搬送方向に平行の方向の寸法）にも若干のばらつきが生じることがあります。

② ご理解いただきたい事項

寸法や位置の精度が要求される印刷物（例えば、機械印字式伝票、寸法等が厳しく規定されている書式、機械読取用帳票等のほか、ずれが目立ちやすい柄の多色刷りなど）については、孔版印刷に適さない場合があります。

(2) 印刷物のローラ痕等の汚れ

① 概要

孔版印刷のインキはオフセットと比べ乾燥しにくく（2. (3)参照）、製本や断裁でのインキ移りなどが多少生じるほか、特に多色刷りの印刷物においては複数回印刷機を通すことによるローラ痕等が見受けられることがあります。

② ご理解いただきたい事項

孔版印刷をご指定いただく際は、このような現象の可能性をご理解の上ご利用いただくようお願いいたします。